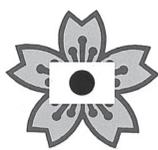


国防は最大の
福祉である
初代会長 高橋季義



國の支え

中井信夫元大阪府議会議長

関西防衛を支える会
(略称・関防会)
〒542-0081
大阪市中央区南船場3-11-10
心斎橋大陽ビル7階
TEL 06-6241-1124
発行人 濱野晃吉
編集人 新川貞敏
印刷所 (株)新聞印刷

第67号

(夏季号)

平成28年7月1日(金)

(皇紀2676年)

(大正紀元105年)

(昭和紀元91年)

第19回定時総会

4月26日
於 ホテル・グランピア



此度、平成28年4月1日付けで前田稔事務局長の後任として、関西防衛を支える会の事務局長に就任致しました。大変名譽の事と思っておりますが、その責任の重さは痛感しており比較される事の厳しさを実感しております。

前事務局長の前田稔様は約19年間にわたり事務局の体制を確立され、会の発展に寄与されました事に、ただただ感謝と御慰労を申し上げます。

前任者の19年間の経験と実績を維持し、更に会を発展させて行く事は並大抵の事ではないと考えておりますが、就任致しましたからには、今後とも会員増強に

責任の重大さ痛感

事務局長 奥 久嗣



よろしく
お願いします

ご苦労さまでした

また、会員各位には弊会の行事は当然ながら自衛隊の諸行事、友好団体の行事などの情報を提供し皆様の御希望に添えるように頑張っております。

自分の未熟さは自覚しておりますが、皆様の御協力の基に任務を遂行してまいりますので、今後とも一層の御指導、御鞭撻をお願い申し上げます。就任のご挨拶とさせていただきます。

願ひますに事務局長の役職を19年の永きにわたり大過なく務めさせて頂きましたのも皆様の暖かいご指導ご助力の賜物と心より感謝しております。

想い起こせば、平成10年11月初代会長・高橋季義様の呼びかけで関防会設立準備委員会を18名で開き、その場で事務局長に指名されました。当時私は51歳でした。

翌年、新阪急ホテルで設



事務局長退任にあたり

顧問 前田 稔

立総会を開きましたが、立派な会場の割に出席者が少なく、悔しいやら情けないやら、何とも言えない気持ちになりました。よし、私の在任中に会員千名と財政基盤の確立を目標にし、会員募集に、また理事役員の補充に奔走しました。その努力が実り18名からスタートした「会」は現在では、八百余名弱になり予算でも約一千五百万円位が組めるようになりました。

不覚にも、平成27年10月に脊髄を痛め歩行困難に陥り、余儀なく手術をされました。その間、約半年間「会

位に立っています。しかし、いずれも日本は日本自らを守るべきだと主張しています。日本としては、これから自らの国は自ら守ることが求められます。そのため、今年7月の参議院選挙では憲法改正の発議に必要な3分の2議席を獲得し、自主憲法ができるよう安倍政権をしっかりと応援していきたいと思っております。

本日はこの後の講演で前海上自衛隊員総監(海将)の伊藤俊幸先生のご講話「安全保障法成立後の自衛隊の役割」をテーマにお話し頂きます。前伊藤総監は豪胆で度胸満点の方で私も大ファンでお話しを楽しみにしております。ご期待してお聞き頂きますようお願いいたします。私の挨拶と致します。

今、九州は地震で大変なことになっておりますが、おどろきになった方から心からお悔やみ申し上げますとともに被災者の方々には心からお見舞い申し上げます。



急がれる自主憲法制定

会長 濱野 晃吉

本日はご多用のところ第19回総会にご出席いただき誠に有難うございます。皆様のお陰様でこの機会に参加して関西防衛を支える会をよく活動していることを

わが国は今、未曾有の危機を迎えています。中国は「民族の偉大なる復興」を掲げ、軍事力強化を進め南シナ海、東シナ海で活動を活発化させています。北

朝鮮は1月に核実験を実施し、ミサイル発射を繰り返して行っています。このような厳しい状況下で安倍総理大臣がいてくれた本当によかった。鳩山菅首相でなくてよかった。日本は神様に守られていると思えます。その安倍首相は安保関連法案を成立させ

わが国の戦争抑止力を強化してくれました。現在アメリカでは大統領選が行われていますが、共和党はドナルド・トランプ、民主党はヒラリー・クリントンが優

関防会の歴史勉強会 中島サロンのご案内

関防会担当 築瀬 090-3925-6327

第62回 日 時 平成28年8月20日(土曜日) 午後4時から
講 師 江口克彦氏(前参議院議員)
昭和15年名古屋市長、慶応義塾大学法学部卒、松下電気入社以後23年間松下幸之助氏の下で過ごし、松下哲学、松下経営の伝承者とされる。経済学博士、枚方市在住
演 題 沖縄の基地・日本防衛の観点から考察
松下政経塾創立に尽力され、多くの政治家を育てた裏話など踏まえ日本防衛の在り方を披露して貰います
会 費 5,000円(飲食代含む)
会 場 錦城閣(中国料理店)06-6914-2185
地下鉄谷町線・京阪電車天満橋駅・直上(キャッスルホテル3F)

第63回 日 時 平成28年10月22日(土曜日) 午後2時から
講 師 ロバート・エルドリッチ氏(48才)
平成6年、神戸大学大学院博士課程入学(日本政治外交史)11年終了。
平成21年から在日米軍沖縄海兵隊に所属、元在沖縄米軍海兵隊外交部長。
演 題 国防の要所《沖縄》の現状と日本の未来
平成27年2月、沖縄米軍基地内に侵入した反基地活動家が逮捕されたが沖縄メディアは「不当逮捕」として大きく報道したために警備をしていた人達が誹謗中傷を受けた。エルドリッチ氏は現場の防犯カメラを公開した。
参加費 2000円(当日会場で申し受けます)
学生会 1000円(当日会場で申し受けます)
学 場 PLP会館5F(大会議室)
大阪市北区天神橋3-9-27 電話06-6351-5860
(地下鉄堺筋線「扇町駅」下車、東南南へ徒歩約5分)
共 催 龍馬プロジェクト全国会 ☎090-6663-8330 担当 奥村
懇親会 錦城閣(中国料理店)17:00から
懇親会費 4000円(先着60名、当日申し受けます)

英霊感謝祭

大阪護国神社では左記日時に戦没者慰霊祭を催します。
自由参加ですので時間の許す方はぜひ、ご参加ください。

*日時 八月十五日
*時間 十二時から十三時
*場所 大阪護国神社
地下鉄四ツ橋線
住之江公園下車すぐ 一番出口
*電話 〇六一六六八一―三三七二

目に見えない戦争を仕掛ける共産シナ

多くの日本人は共産シナから戦争を仕掛けられていることに無頓着である。多くの日本人は「エ、まさか、そんなことはないでしょう」と言う。しかし、かの国は法律戦「言伝戦」「心理戦」という三つの工作を「目に見えない戦争行為」として「三戦」として言葉で表現する。「三戦」というからには正に「戦争」として対処しなければならぬことは当然である。

かの国は、我が国を「敵国」、少なくとも「敵性国家」として認識していることには気がかなければならぬ。

かの国には膨大な人員を抱える「サイバー部隊」によって我が国のサイバー領域に侵入している。侵略行為と言ってもいい。我が国の国家機密や企業が開発した重要ノウハウを破壊し、改造し、窃取して我が国の利益を奪っている。

共産シナは、戦前からソ連の謀略戦を学びながら見えない戦争を得意技としている。例えば「ソ連の拡張」「偽情報の注入による攪乱」などは得意技といえよう。わけでも「歴史のねつ造」は悪質な謀略である。自分にとって都合の悪い事実を巧みに隠し、自分にとって有利な歴史を作り出す才能は天下無双である。

「三つの恐怖」による政治運営

共産シナは「マルクス・レーニン主義」「毛沢東理論」そして「鄧小平理論」を基本として運営されているといわれるが、共産党の「一党支配体制」「三つの恐怖」を基礎としていると私は見ている。

「三つの恐怖」とは、次の三点である。

第一点・国家と社会を暴力によって破壊し、人間性を否定する。彼らが使う暴力は目に見えないものも含まれており、知らず知らずのうちに人間性を破壊する。

第二点・国家を破壊し、公の秩序を否定し、善良なる文化を抹殺しようとする。共産党だけが正しいとする唯我独尊思想は密告を促し、人間らしい感性を失わせている。この点は、毛沢東が進めた「文化大革命」の混乱を思い起こせば容易に理解できる。

第三点・法の支配を建前にしながらも、法の上に共産イデオロギーが存在するとして、その支配を暴力的に押し付ける。一九八九年、北京の天安門広場で展開された民衆虐殺事件、つまり「六・四事件」は、法の支配を否定する邪悪な国家体制を露呈した具体例である。

シナという国柄は、現在の共産シナに限らず、「法治の国」ではなくて「人治の国」である。最初の王朝である「秦」もそうだったし、現在の共産シナも例外ではない。いわば「法は民衆を治めるための道具」なのだ。このような国柄であるシナに「国際法を守れ」と求めても彼らには理解できないのである。

神のような存在であるとする共産党は、国際社会が「南シナ海をめぐる紛争は、法に基づいて解決すべきだ」と強く求めても全く応じようがない。共産シナに

対して甘く対応したならば、国際社会は恐ろしい事態を招くかもしれないのである。

人民を大量殺害したシナ共産党

一九四九年十月一日に建国宣言した共産シナにおいて人民は果たして幸福な生活を得たのだろうか。答えは明らかに「否」である。

毛沢東が殺害した人民の数は少なくとも五千万人、多くの専門家は七千万人程度という数字を掲げている。その内訳はこうだ。

まず一九五〇年代におきた「三反・五反運動」では二百万から三百万人が逮捕投獄され、その大半が獄死したといわれている。この運動は、朝鮮戦争に参加したのをきっかけとして国民党の残党が不穏な動きを示したことから開始された。

次が、やはり一九五〇年代半ばに展開された「百花齊放・百家争鳴」運動だ。ここで明らかになった毛沢東に対する不平分子の存在を「掃除することになった。この時の犠牲者は約三百万人といわれている。

共産シナの膨張を抑止せよ

次に発出されたのが恐ろしい「大躍進政策」である。この政策によって農業器具が奪われて約四千万人の餓死者を出したといわれている。この大飢饉は「単なる自然災害」として事実が隠され、二十年以上餓死者の存在が隠蔽された。

さらにおぞましいのは、一九六六年に提起された「文化大革命」である。毛沢東の政治権力を失わせた劉少奇ら実務家を粛清するために全国的な「革命運動」という破壊活動が吹き荒れた。「紅衛兵」という無知蒙昧な若者が全国的に暴れまわり、多くの貴重な人材が抹殺された。劉少奇は獄死、鄧小平は僻地に幽閉された。

この狂気は毛沢東が一九七六年九月九日に他界してようやく終息したが、この混乱の中で約一億人が粛清され、うち死亡した者は二千万人以上といわれている。

恐ろしいのは、このような大量殺害を指揮した毛沢東に対する評価が必ずしも厳しくない点である。厳しくないというより、未だに共産革命を成し遂げた「国父」として崇められていることである。巧みな洗脳工作によって「あの頃は、貧しいながらも幸せだった」という意識を国民に植え付けているのである。



関防会 監事 山本 賢一

山本 賢一

建国の翌年、一九五〇年に朝鮮戦争に参戦し、同時期チベットにも侵襲している。朝鮮戦争が休戦すると、一九五四年に台湾海峡に浮かぶ金門島に激しい砲撃を加えている。同時期、海南島付近で米軍機と交戦。一九五八年に再び金門島を攻撃するばかりでなく、チベットにおいて武力を使って苛烈な弾圧を加えている。

一九六〇年以降、インドに対して度重なる軍事侵略を行い、インドの本来の領土を奪い取っている。特に一九六二年のインド侵略は悪質だ。なぜなら、インドとは一九五四年に「平和五原則」(領土と主権の尊重、相互不可侵、内政不干涉、互恵平等、平和共存)を確認してインドを安心させ、相手を油断させてから侵略したのである。

インドに対して大規模な軍事攻撃をした時期は、まさに「キューバ危機」と重なっており、米ソ両大国が核戦争の淵にあった。その時期を狙ってインドを攻撃しているのである。

共産シナのインドに対する欺瞞工作は、国際情勢が自ら有利になった瞬間を利用して武力行使を行ったといふことと重ね合わせるかの国の悪辣な性質がよくわかる。

さらに、一九六九年には、東シベリアを流れるウスリ川流域でソ連軍と激しい戦闘を行っている。双方に数百人規模の戦死者が出ている。

一九七一年には、対米戦で勝利したベトナムが疲弊困憊しているのを見計らって南シナ海の西海域の諸島に侵襲。七四年になるとベトナム海軍を撃破してこの諸島を占拠している。

続く一九七九年、シナ大陸の西部にあるベトナム国境を越えて大部隊を侵襲させている。この時は、対米戦に勝ち抜いたベトナム軍の猛攻によって惨敗している。

一九八九年には「六・四事件」という人民虐殺を行い、チベット侵略も同時並行的に行っている。この時のチベット侵略は悲惨なもので、多くの寺院を徹底的に破壊するばかりでなく、多数のラマ教僧侶を虐殺している。この時期は東西冷戦が終末を迎えていて、米ソともにチベット問題に介入できない時期であった。ソ連軍がアフガニスタンから撤退し、イランとイラクが激しい衝突を繰り返していた時期でもあった。

共産シナは、国際的なパワーゲームの動向を巧みに利用する手法をどこでも使っている。

加えて一九九六年、民主化を進めて総統選挙を準備していた李登輝政権に対し武力を使って威嚇した。まずは海軍の大部隊を台湾近海に展開させて実弾演習を行い、大陸から台湾近海に向かって弾道ミサイルを撃ち込んでいる。

政治指導者を選挙によって選ぶとした李登輝氏を「隠れた独立派だ」と誹謗中傷して、武力による威嚇を行ったというこの共産シナの行為は、国際社会全てから厳しく非難されたことは記憶に新しい。

一三〇〇万人の人口を有する台湾を威嚇

台湾は事実上独立している存在である。自由と民主主義を尊重し、国際社会の模範生と言ってもよい存在である。

この台湾に対して、共産シナは、一五〇〇発ものミサイルを向け、常に軍事的に威嚇しながら「台湾は俺たちの領土だ」「中国は一つと言え」「台湾との統一はシナの正当なる権利であり義務でもある」と主張している。

台湾をめぐる共産シナの主張は、周辺国の了解を得たものではなく、国際社会の承認も得ていない。

また、張作霖が満州のボスだった時期、ソ連軍と衝突したことがあった。満州の鉄道利権をめぐる戦いだった。現在、極東シベリアをめぐる両国の利害は不安定に向かっている。多くのシナ人が川を渡ってロシア領内に移住して商売を拡大させているようだ。ロシア側の人口が減少している一方、シナ人の人口はケタ違いに多く、シベリアの土地を買いたさっているといわれる。

さらにモンゴルも様々な局面で共産シナとの軋轢を生んでいるといわれる。加えてその昔「東トルキスタン」と呼ばれていた「新疆ウイグル自治区」でも反中感情が高まっていることである。

共産シナとインドとの対立は解消しようがない。かつてインドの首相を務めたネルーは「社会主義国は外国へ侵略しない」と素朴に信じていた。ところが、前述のように「キューバ危機」の時期を利用して共産シナは、だまし討ちのようにインド領を襲奪してしまった。この時の根柢はインド国民の心に大きなこりとして残った。この時、強烈な屈辱感を味わったインドは、核開発を決意したといわれている。インドとの戦略的連携は我が国の利益に合致していると考えよう。

また、南シナ海を巡る利害の衝突は深刻さを増しつつある。海洋権益で共産シナと対立する各国との連携は我が国の利益に合うものであろう。

いずれにしても、共産シナの軍事的膨張は続くと思われなければならない。この圧力を抑止するためには政治家ばかりでなく、日本人一人一人の国防意識と覚悟が求められるのである。

覇権を求める共産シナを抑止せよ

共産シナの軍事予算は日本円で二十兆円を超えているとされている。その軍事パワーは日に日に拡大している。しかし、いかに強大なパワーといえども分散させることに成功すれば圧力は軽減できる。共産シナの軍事パワーを北や西に向けさせる戦略が求められるのである。

共産シナと陸地を接する国の数は十四か国で、その国境の長さは二万四千キロにも及ぶ。

共産シナの北にはロシアが存在している。ロシアとの対立が高まれば他の周辺国にとって好都合であることは言を俟たない。

歴史を見ると、ロシア(ソ連を含む)とシナが武力衝突した実例は少なくない。その典型例が前述した「ウスリ川の戦闘」である。一九六〇年代、スターリン批判を行ったフルシチョフ政権に対して毛沢東は「修正主義だ」として激しく批判した。対立が激化し、ウスリ川の「ダマンスキー島」の領有をめぐる武力衝突した。この時期のソ連は「シナに対する核攻撃を検討した」とするソ連の専門家の告白がマスコミに流れた。

又、張作霖が満州のボスだった時期、ソ連軍と衝突したことがあった。満州の鉄道利権をめぐる戦いだった。現在、極東シベリアをめぐる両国の利害は不安定に向かっている。多くのシナ人が川を渡ってロシア領内に移住して商売を拡大させているようだ。ロシア側の人口が減少している一方、シナ人の人口はケタ違いに多く、シベリアの土地を買いたさっているといわれる。

さらにモンゴルも様々な局面で共産シナとの軋轢を生んでいるといわれる。加えてその昔「東トルキスタン」と呼ばれていた「新疆ウイグル自治区」でも反中感情が高まっていることである。

共産シナとインドとの対立は解消しようがない。かつてインドの首相を務めたネルーは「社会主義国は外国へ侵略しない」と素朴に信じていた。ところが、前述のように「キューバ危機」の時期を利用して共産シナは、だまし討ちのようにインド領を襲奪してしまった。この時の根柢はインド国民の心に大きなこりとして残った。この時、強烈な屈辱感を味わったインドは、核開発を決意したといわれている。インドとの戦略的連携は我が国の利益に合致していると考えよう。

また、南シナ海を巡る利害の衝突は深刻さを増しつつある。海洋権益で共産シナと対立する各国との連携は我が国の利益に合うものであろう。

いずれにしても、共産シナの軍事的膨張は続くと思われなければならない。この圧力を抑止するためには政治家ばかりでなく、日本人一人一人の国防意識と覚悟が求められるのである。

好戦的な共産シナを警戒せよ

共産シナの危険な軍備拡大と軍事的膨張によって、東アジアの緊張が高まっている。このまま進むと軍事的衝突が不可避となる可能性がある。見るのは筆者だけではないだろう。

共産シナは建国以来、十回以上も武力衝突しているからである。次にその具体的な事案を掲げてみよう。

一九八九年には「六・四事件」という人民虐殺を行い、チベット侵略も同時並行的に行っている。この時のチベット侵略は悲惨なもので、多くの寺院を徹底的に破壊するばかりでなく、多数のラマ教僧侶を虐殺している。この時期は東西冷戦が終末を迎えていて、米ソともにチベット問題に介入できない時期であった。ソ連軍がアフガニスタンから撤退し、イランとイラクが激しい衝突を繰り返していた時期でもあった。

三人の陸軍大将

その2



一般社団法人 大阪府警備業協会 専務理事 原田光生

第二章

「それぞれの生い立ちと軍人への道」

1 立見尚文陸軍大将

(1) 生い立ち

立見が陸軍軍人への道を歩むことになったのは、戊辰戦争における長岡城の攻防戦、いわゆる北越戦争における新政府軍の山縣有朋や黒田清隆らと戦い、山縣らが一敗地にまみれたことに起因する。

立見の生家である町田家は、代々伊勢「桑名藩士」であった。「立見尚文」は弘化5年(1845年)、当時江戸詰であった町田伝太夫の三男として生まれた。幼少の頃は「町田鑑三郎」と名乗っていたが、5歳の頃、男の子のいない叔父の立見作十郎の娘「みの」(4歳)と将来結婚する手はずの養子縁組を結び、名をあらため「立見鑑三郎」となった。幼少より、文武に優れ、桑名藩の逸材として将来を期待される人物であった。伊勢「桑名藩」は、関ヶ原の合戦後、代々徳川と縁戚筋の松平家が領主となつたものの、相次ぐ水害と百姓一揆に悩まされ、藩主が入れ替わり、幕末期、当時の藩主「松平定猷」の死去(26歳)にも



ない美濃高須藩から松平定猷(まつだいらさだあき)を藩主に迎えたことが、鑑三郎の運命を決定づけた。定猷の兄は、尾張藩主徳川慶勝、一橋家を継いだ徳川茂徳(後・尾張藩主)、会津藩主松平容保の、いわゆる高須四兄弟の末弟であった。「松平定猷」が、桑名藩主になったのが14歳の時である。この時、鑑三郎は、破格の「1800石馬廻役」の小姓として抜擢されている。時代は、ペリー

の来航、井伊大老の暗殺など急速に動いており、特に京都の治安が悪化したことから文久2年に「京都守護職」が設置され、会津藩主松平容保が任に就いた。翌、元治元年(1864)には、その弟の松平定猷が京都所司代に就いたことから、兄弟で京都の治安確保に任ずることになった。このことが、後の戊辰戦争につながり、長岡城攻防戦で、鑑三郎を一躍有名にする。鑑三郎は、藩主「定猷」に従い、京へ上り「公用方」の任に就き、他方「西郷隆盛、桂小五郎」や、新選組の「近藤勇、土方歳三」等とも、藩を代表して交流を重ねている。

(2) 軍人への道

このように、時代は明治維新へと動き、「禁門の変」

の時、桑名藩は、会津藩、新選組とともに長州藩と戦っている。その後、幕府軍の一員として鳥羽伏見で戦い、総勢80人が、敗れて船で江戸に向かい、栃木宇都宮城の攻略作戦に加わっている。その後、藩主「定猷」が逃げ延びている桑名藩の飛び地であった、越後の「柏崎」に向かい藩主と



合流した。この柏崎で、桑名藩は、一番隊から三番隊への部隊編成を行い、これまでの鑑三郎の戦闘指揮を見てきた藩士は、鑑三郎を一番隊長に推薦し、この一番隊を「雷神隊」(69人)と命名している。この雷神隊の働きは戊辰戦争の「長岡の戦い」において、幕府軍の中でも突出した働きをしており、初戦の「鯨波の戦い」で新政府軍の加賀藩を蹴散らし、続く長岡城をめぐる攻防戦では、優位な「朝日山」(新潟県小千谷市)を占拠し、攻めてきた長州奇兵隊参謀「時山直八」を打ち取った。新政府軍の「山縣有朋」(北陸道鎮撫軍参謀)は、松下村塾奇兵隊以来の盟友「時山直八」を討ち取られ愕然としているが、松下村塾同門の「品川弥二郎」(後、内務大臣子爵)は、後々までも時山は生前が殺したと山縣を責めている。このことが後の立見尚文陸軍大将を輩出することになることは、誰が知り得たのだろうか。雷神隊はその後会津で戦い、藩主「定猷」を追って庄内藩に入り、そこで新政府軍に恭順の後、許されて故郷桑名に帰り、謹慎の後、司法省に出仕して判事に任官したが、西南戦争の勃発は彼を判事の任に置かず、明治政府は軍への出仕を求め、いきなり陸軍少佐として抜擢している。これには北越戦争で手痛い目にあった山縣有朋の推挙があったと言われている。陸軍少佐の立見は、さまざま新選組の参謀副長として出征した。そして西郷隆盛の終焉地、鹿児島島の城攻めでは、山縣有朋の総指揮のもと、第二大隊長として新選組選抜隊を指揮して、西郷隆盛を討ち取り、これが錦絵で宣伝されたことから一躍有名となった。以後彼は軍人への道を歩むが、かつて、幕府軍の指揮官として、新政府軍をさんざん悩ました賊軍の指揮官が、戊辰戦争後判事に任官し、西南戦争という大きな困難があったにせよ、敵同士であった山縣有朋など明治政府に見いだされて、明治陸軍の大將になるとは、お互いに戦ったもの同士でないとわからない。明治日本人の懐の深さと、新しい国作りへの気概が感じられてならない。彼はその後青森第8師団長になり、後の日露戦争で、敵冬期のロシア軍の攻勢(黒溝台の戦い)に持ち応え、満州軍の崩壊を防ぎ、これが続く奉天会戦の勝利に繋がる事となる。

2 柴五郎陸軍大将

(1) 生い立ち

柴五郎の人生の原点は「会津籠城戦」にある。柴家は、

藩祖「保科正之」の信州高遠城主以来の譜代の臣である。万延元年(1860年)、会津若松市で生まれているが、その名の通り五男である。会津籠城戦の時6歳であった。柴五郎はこの時、城外の亡き大叔父宅に身を寄せていて難を逃れたが、祖母、母、兄嫁、姉、妹の五人は自刃し、兄謙介も亡くなっている。母「ふじ」は戦を予感し、大叔母が住む亡き大叔父宅に五郎を行かせたのである。開城後会津藩士らは、明治3年に北半島の「斗南藩」に移された。入植した会津藩士ら1万7,300人は、日本列島の最果ての地、下北半島の付け根に当たる「野辺地」から近郊に散らばり、開墾をしていった。火山灰の痩せ地、さらに冬は豪雪地帯である。入植者は泥炭の苦しみを味わい、人々は飢餓地獄に陥り、年寄や幼児はバタバタと死んでいった。翌、明治4年の廃藩置

(2) 軍人への道

五郎が青森の給仕に出仕し、そこで初代県知事たる「野田裕道(のたひろみち)」県権大参事に会ったことが、後の柴五郎陸軍大将を輩出する事になる。野田は熊本藩士で、明治陸軍の経理組織の創設者であり、後の陸軍主計総監にまで昇りつめた人物で、男爵の爵位を受けて貴族院議員となっている。野田の偉さは、戊辰戦争の敵味方関係なく、人材を発掘し、柴五郎の他、海軍大将斎藤実(後総理)などを発掘登用し、自ら死んだ時に、葬式の費用もなかったと、野田の甥である石光真清(日清・日露戦役の際、満州にて情報活動に当たる)はこの手記に書いている。青森県給仕として出仕したものの、五郎は東京に出て修学したい思いが募り、野田に相談して許可を得た。しかし、東京に出て来てすぐ当りがあるわけではない。会津出身の知人宅を転々として、その後東京に転動してきた野田を頼るなど、ホームレスに近いような境遇に陥っていた。そのような時、陸軍會計一等官吏に任官していた野田が、「近く陸軍に幼年学校というものができると言われ、五郎はこれに飛びつき受験したらどうか」と言われ、五郎はこれに飛びつき願書を出し受験している。この当時五郎は、行く当てもなく、会津藩の家老であった「山川浩」(後、陸軍少将・男爵宅に寄宿)している時に幼年学校合格通知を受けた。山川は、五郎の入学の為、服装(軍服)などを揃え、送り出している。この時、山川の母「勝静院」は、洋装した五郎を見て目に涙を溜めるようにしていつまでも眺めていたという。五郎はその「勝静院」の眼差しに、「母「ふじ」の眼差しを感じ涙した。そして、明治6年3月に陸軍幼年学校に入学、明治10年5月陸軍士官学校に入り、軍人への道を歩むこととなった。立見尚文と同じく、かつての敵であった野田との出会いが彼を軍人への道に導き、

「義和団の乱」での北京城籠城戦における活躍が、日露戦争前日の英同盟締結へと繋がって行くことになる。

3 今村均陸軍大将

(1) 生い立ち

今村均の軍人への道は、父の急死と、戦傷した陸軍大尉の娘であった母の勧めにあった。今村は、明治19年に、9人兄弟(五男四女)の次男として、仙台市で生まれている。父が裁判官であったことから、転勤が多く、物心ついたころは山梨県南巨摩郡鯉沢町(現在・富士川町)で過ごし、旧制甲府中学校入学後、父の転勤にともない新潟県の新発田市に移り、旧制新発田中学校を卒業している。本人の手記によると、早産(八つき児)で生まれたからか、9歳頃まで「夜尿症の寝小便垂れ」で、夜何回も起きることから居眠り名人で、陸軍士官学校生徒時代は、授業中居眠りをよく怒られ、居眠り防止の為、唐辛子を噛んだところを教官に見つかっている。それでも成績が優秀なことから、今村の居眠りは「病氣だ」ということで、教官皆が以後注意しなくなったという。明治37年3月、新発田中学を卒業した今村は、上京し、旧制一高(東京商大(現、一橋大学))を受けるべく受験勉強に励んでいたが、五月に裁判官の父が急死した。兄弟の多い今村は、学費の工面ができないことを母から言われ、また、その母から、「ロシアの戦争で、国が亡ぶか大変な時に、家からは姉婿(陸軍大尉)が出征しているが、五人も男の子がいるのに、一人も戦に出ないのでは、お国に対する義務を欠くことになる。士官学校に入るなり、現役兵を志願するなりして戦場で働きたい」と再三に渡り言われ、毎日苦悶の日々であったと記している。この時代の母親と現在の同世代の女性を比べるとは出来ないが、正に隔世の感があると言わざるを得ない。

(2) 軍人への道

今村が、苦悶の日々を送っているとき、青山練兵場で陸軍の大観兵式が挙行された。時は、日露戦争の真最中である。満州での日口の戦いがどうなっているかが国民の最大の関心事で、国民は戦況の報道に一喜一憂していた。観兵式の挙行を新聞報道で知った今村は、観兵式とはどのようなものか見に行きた。青山練兵場に2時間前に行ったものの、会場にはすでに入らず、青山通りの両側、道端に幾重にも数万人の人が「せめて陛下のお通りだけでも拜むんだ」との思いから立ち並んでいた。やがて、近衛騎兵の儀仗隊を先頭に陛下が会場に御着きになり、喇叭の音、軍樂隊の演奏のもと、観兵式が始まった。今村は群衆の中で、はるか彼方から、これらの音を聞くのみであった。かれこれ一時間すると騎馬巡査が会場を出ると、あちこちから「お帰らだ。おかえりだ」との声が聞こえはじめ、まもなく、騎兵儀仗隊の姿が見えと、人々は「万歳、万歳」と叫びながら、あたかも堤防を切った洪水のごとく、御馬車に向かってほとぼしり、憲兵や警官の制止などではどうにもならず、前後幾十の儀仗騎兵さえ御馬車より離されてしまい、御馬車を引いている四頭の馬は足をあがいているがどうしようもない状態となった。このような中、群衆は「万歳、万歳」を叫び、皆頼りに涙を垂れている。奇しくも今村は、大人の群衆に、もまれにもまれ、気が付くと全くも思いもかけず御馬車の2メートル位の位置に押し出され、御馬車内から群衆にうなづいておられる明治天皇のお顔を拝顔することができた。明治天皇は御馬車の窓を通して両側の民衆におおらかな御うなづきの挨拶を賜っておられた。この時、練兵場から数百の歩兵部隊が駆け足で駆けつけ、御馬車と群衆を掻き分け、やっこのことで御馬車は体制を整え、宮城に向かわれた。しかし、群衆は狂ったように「万歳、万歳」を連呼し、涙を流しながらこれを見送った。時はまさに有史以来の国難の時であった。満州の地では、群衆の父や兄、子など、身内の者が極寒の中で戦っている。国の安泰と身内の無事を、人々は明治天皇の御顔にだぶらせた祈ったに違いない。これを見た今村は、「ああ、これが日本のお国柄だった」「君民一体の大家族国家であった」と納得し、さまざま「陸士受験する。不合格だったら現役兵を志願する」との電報を新発田にいる母親に電報した。そして奉天会戦直後の明治38年4月、新発田の歩兵第16連隊将校集会所で陸軍士官学校候補生の採用試験を受け、合格、そしてその年の7月、今村の原籍である仙台の「歩兵第4連隊」に士官候補生として入隊し、その年の12月に、東京市ヶ谷の陸軍士官学校に入学した。今

謹啓

新緑の候、ご清栄のこと存じます。

さて、先日はご多用のところ熊本地震災害派遣活動の為に結構な品を頂戴いたしました心より感謝申し上げます。細やかな心遣いに隊員一同大変感謝しております。

おかげをもちまして、隊員の士気も一層高まり無事に災害派遣の任務を終了することができました。

今後とも隊員一同精進していき所存でございますので変わらぬご高配の程、よろしくお願ひ申し上げます。

末筆になりましたが、皆様のご健勝とご多幸を祈念申し上げます。略儀ながらお礼申し上げます。

謹白

平成二十八年五月十六日

中部方面通信隊長 一等陸佐 伊藤 幸二

関西防衛を考える会 会長 瀧野 晃吉様

(以下頁に続く)

米国崩壊の予兆

合衆国に非ず、北米連邦なり
日本は、兎に角「米国」を日本的な「国民国家」と見
做す傾向が強い。だが、米国は、五十の「ステート(国)」
で構成する「連邦国家」であって、日本では米国の「州」
を「都道府県」並に認識しているが、実態は全く異なる
り、「ステート」は「政府」「憲法」「軍隊」を保有し、独
自性が強い。例えば州ごとに死刑制度
の有無は異なり、同じ凶悪犯罪であって
も、過半数の州では「死刑」を科されな
い。

米国は、「合衆国」では無く「北米連邦」と表記すべき「連邦国家」なのである。其れゆえに、かつての「連邦」と同様に、常に分裂解体の可能性を秘め、実際に所謂「南北戦争」では、一時的に分裂した。その反省から大統領権限を強化して居るが、米国連邦軍最高司令官としての権力は、絶大なものがあり、世界一危険な核開戦権限を持つ地位とみなすべきであらう。

米国の政界は、「地方議会」から「州議会」に進出し、更に「下院」「上院」或いは「知事」に進み、「大統領候補」を目指すのが通例で、今回の有力大統領候補者全員が、この道をたどって居る。ただ一人トランプ候補を除いて、強大な権力を保有する「連邦政府」と、地方分権の自主権を有する「州(国家)」とは、財政・軍事などを通じて協力関係にもあるが、対立する場合も多い。

米国社会の実態

欧州では入国を拒否される程のトランプ候補が、何故、現下の米国では持て囃されて居るのか？。其れは彼が「ワズビズム」の本音を声高に吹聴しているからである。

米国の歴史は、「ワズプ(英国系新教徒白人)」に拠る入植・膨張・侵略の連続であった。無論、「非アンゴロサクソン系」のゲルマン、ラテン、スラブ系欧州移民も増加したが、彼らは、徐々に、そうして部分的に「ワズプ」へ同化して行った。

第二次大戦後に、世界最強・最大の軍事・経済・政治力を具備した米国は「朝鮮戦争」から所謂「ヴェトナム戦争」への二五年間で国家体質を大きく変貌させた。



トランプ候補に診る米国社会の現状と必然的未来

潤 長谷川 警世家

即ち「第一次産業的プロテスタンティズム」から「金融資本主義」へ、「キリスト教」から「民主教(主義)」へと大きく変貌したのである。宗教的倫理観が滅衰して、個人の「権利と自由」が過度に容認・助長されれば、ちっぽけな「個人」が「神」

と成り上がり、個人の「勝手気まま」が公益・公共の福祉よりも優先される異常社会が現出する。

家庭崩壊の結果

その結果として「殺人事件」の被害者数は年間に三万人を超え、「交通事故犠牲者」は年間四万人近く、「無差別発砲事件」を含む乱射事件は年間五百件以上に上る。「マフィア」と呼ばれる犯罪組織や「ギャング」と嫌われる無法集団が絶えず犯罪を起こし人身売買や性犯罪は後を絶たない。薬物汚染は深刻で、連邦検察局(FBI)の主たる任務は薬物対策になっている。

犯罪者が多すぎる為に刑務所は常に定員超過で、刑期未了の受刑者がトコロテン式に一般社会に送り出され、再犯を繰り返す。犯罪者は「民主教」の法と正義と権利を守られ、取り締まる側は「ミラダ・ルール」(違法捜査による証拠は無効)等で徹底的に行動を監視制限される。犯罪の自由と犯罪者の権利が、人権なるお題目の下に擁護される異常倒錯社会が米国社会の現実である。

犯罪以外にも、医療機関での誤投薬に因る死者が年間二万人を超える現実も米国社会の知的水準の低さを物語っている。

その原因の一つに「家庭崩壊」の問題がある。原因は「民主教」支配の定着に起因する。即ち「個人の自由と権利」を最大限に保障した結果、人間社会が個人に分断され、「家庭」という人間社会の最小単位さえも、その連帯感や相互扶助の精神、家族愛等が希薄化し個人の自由と権利を主張し合い、利害を対立させる場に変質させられた。

「キリスト教」が推奨する模範的な家庭がない訳ではないが、「民主教」も同様に排他的な「二神教」であり、個人の自由と権利尊重の教義は絶対であって、一切の妥協を排除する。従って個人の人権を守るためには人類が「滅亡」する事さえ容認する傾向が強いと考えざるべきであらう。

米国の最大の都市ニューヨークの中心のマンハッタン南部に「ウォール街(世界金融の中心地)」があるが、オランダの植民地時代、原住民の襲撃に備え木材で「壁」を築いたのが語源とされる。米国最大の州たるカリフォルニアは幕末まではメキシコの領土であった。それらの事実が物語る「米国史」は、米国の国家的性格を如実に証明している。

侵略の米国史

絶えざる膨張の要求と、その要求を満たす為の侵略の連続こそ、米国の「国是」であり、国家目的であり、国家理念である。ワズプ中心に米国史を記述すれば、英国の「清教徒革命」から二十年程前に、本国での宗教的迫害から逃れた「清教徒」が北米大陸へ移住した時点から始まる。我が国や南欧、北アフリカ諸国、南米諸地域に比べれば、米国は新興国であり、歴史の浅い低文化国家である。

米国の「独立宣言」は「安政五年」であるが、実際に独立が承認されたのは、その七年後の「パリ条約」(天明三年)である。当時の欧州では、英国を筆頭に仏国、普国、奥国、露国、土国などの強大国がひしめいており、新興の米国による「東進」は不可能であった。故に、北米大陸でも、海洋でも「西進」しか膨張、侵略の方向性は無かった。

明治二年の「大陸横断鉄道の完成に拠って、米国の太平洋・東亜地域への関心と進出、侵略は加速化して行く。鉄道完成の二年前には、ロシアから七百万千ドルでアラサカを購入し、ハワイから「真珠湾」を租借し、同三十年には、テキサス方式で同国を併合した。翌年には「米西戦争」で衰えたイスパニアから「フィリピン」「グアム」を奪い、「フエイト・リコン」を譲渡させ、「キューバ」を「独立」名目で事実上の支配下に置いた。

ロシアの「南進政策」は有名だが、米国の「西進政策」を強調する者は、愚生以外には、余りいない。世界一の問題国家 大正七年「欧州大戦」が終了すると軽微な損害で「戦勝国」となり、巨額の貿易黒字で世界一の「経済大国」にのし上がった米国ではあるが、昭和四年に発生した世界恐慌は、昭和八年のフランクリン・ローズヴェルト大統領を生み、同大統領の所謂「ニューディール政策」には「西進政策」が明記されている。

第二次大戦後、米ソ両国に拠る世界分割「ヤルタ体制」が成立したが、実態は多数の核兵器を保有し、世界の「金の過半を取り込んだ米国が圧倒的に優位に立っていた。そうして昭和三十七年の「キューバ危機」に於けるフルシチョフの敗北で、米国の優位は明確になった。米国大統領ケネディの対ソ勝利は、米国ワズビズムの最盛期を物語っていた。

だが、それは同時に米国衰退の始まりでもあった。昭和五年の軍事顧問派遣から一五年に亘る「ヴェトナム侵略」失敗は、米国の国際的地位を低下させ、ヴェトナム後遺症は、米国内にも深刻な社会状況を醸し「公民権運動」に伴う「ワズプ」の相対的地位低下と「人種対立」に加え「薬物汚染」「犯罪増加」「道徳・倫理観の減退」「宗教離れ」「家庭崩壊」等々、米国は世界一の「問題国家」に成り下がった。

だが、それは同時に米国衰退の始まりでもあった。昭和五年の軍事顧問派遣から一五年に亘る「ヴェトナム侵略」失敗は、米国の国際的地位を低下させ、ヴェトナム後遺症は、米国内にも深刻な社会状況を醸し「公民権運動」に伴う「ワズプ」の相対的地位低下と「人種対立」に加え「薬物汚染」「犯罪増加」「道徳・倫理観の減退」「宗教離れ」「家庭崩壊」等々、米国は世界一の「問題国家」に成り下がった。

ワズプの本音と既得権益

米国大統領選挙は、米国最大の「サーカス(見世物)」である。政治上の論戦、主義主張以上に米国民の喜怒哀楽・願望・希望・夢、等々が表現される。即ち米国社会の現状を最も反映しているのが、今回の選挙である。

共和党では泡沫扱いを受けていた「トランプ」が首位を独走し、民主党では無名の「サンダース」が善戦し「クリントン」が苦戦する有り様の意外性は「サーカス」を盛り上げる。今回の選挙では、トランプ・サーカスが一番受けている、それは米国民の国民性にある。単純・明快、明朗・快活、不器用、無教養、の性情が端的に表現すれば「明るいはかりが取り柄の単純馬鹿」と看做す事ができる。

その国民性を熟知していたのがトランプであり、ワズプの本音を単純明快に、時には下品低劣な言葉も用いて、明朗快活に咆哮するのである。ワズプは日頃から思っていた腹の内を代弁してくれるトランプに快哉を叫び、溜飲を下げるのである。

弊会の熊本地震支援に対して丁寧なる御礼状を頂戴しました。

謹啓 新緑の候、濱野様におかれましては益々ご清栄のこととお喜び申し上げます

平素より自衛隊に対し御協力ありがとうございます

さてこの度の平成二十八年四月十六日から災害派遣出動命令により熊本地震に伴う災害派遣活動に従事いたしましたところ戦力回復のため、五月四日に無事伊丹駐屯地に帰隊いたしましたことをご報告いたします

今回の派遣に際し、関西防衛を支える会の皆様には激励の品を頂き派遣隊員一同任務を全うすることができました

今後ますます絆を深め皆様の期待に応えるべく連隊一九九となって任務に邁進する所存でありますので引き続き変わらぬご支援・ご厚情を賜りますようお願い申し上げます

略儀ながら書面をもってご挨拶とさせていただきます

平成二十八年五月吉日
第三十六普通科連隊長
一等陸佐 鹿子島 洋

謹啓 新緑の候、益々ご清栄のこととお喜び申し上げます

平素から八尾駐屯地に対しては特別のご配慮を賜り深く感謝申し上げます

また今般の熊本地震に係る災害派遣活動に對しましてご厚情を賜り重ねて深く感謝申し上げます

八尾駐屯地所在部隊及び隊員は被災直後から人員約六十名(リコプター七機基幹)をもって被災地等で活動を行いました

お陰をもちまして帰隊環境下ではありましたが全隊員一九九となり各種任務を安全確実に遂行し五月九日をもって任務を解除され原任務に復帰いたしました

じ後は被災地の早期復興及び被災者の一日も早い生活環境整備を折念しつつ、引き続き部隊強化に尽力する所存でございます

今後とも変わらぬご厚情を賜りますようお願い申し上げます

略儀ながら書面をもってお礼申し上げます

平成二十八年五月十三日
八尾駐屯地司令 眞岡 孝成

関西防衛を支える会
会長 濱野 晃 吉様

以前から合法的に移住している「非白人」を中心とする各種の人種の多くもワズプ同様に既得権益にしがみつき、こうと必死であるが、近年に入り急増している移民・難民・不法入国者によって、職や社会保障を奪われているとの不満を抱いている。病んだ米国社会に問題が山積し、国民の焦燥感、絶望感等などがうごめいて、既成政治家の建前には反感を募らせるばかりである。

民主、共和両党の候補は九分通り決定し、十一月の本選挙では「トランプ勝利」の可能性が高い。

我が国の採るべき道

ヴェトナム侵略の失敗がワズビズムの衰退を余儀なくさせ、その後のアフガン・イラク侵略失敗は米国の国是たる侵略・膨張政策の破綻を齎せた。

昭和四五年の「イラン・イスラム革命」以来の、愚生が「大西亜戦争」と命名した「イスラム圏」に拠る「反米」「反西欧」の「聖戦(ジハード)」は収束するどころか、混沌、混乱の度を深めている。



私の実家(愛媛県庄川)には、言い伝えがある。それは、満洲で自決した東之進おじさん夫婦の話です。実家の伝には、42歳で亡くなったおじさん夫婦のお位牌がおまつりされている。その裏には、亡くなった日と場所が記されている。昭和20年8月18日、黒河省漢河渠松林集南方付近。

おじさんは父の叔父である。学業優秀であったため、貧しいながらも担任の先生のため、旧制西条中学5年間を、5つの駅間をワラジで歩いて通学したそうです。学校に着いても、まだ陽が昇っていない日もしばしばあったそうです。

地元役場の記録では、愛媛県巡査講習所教官を経て、満洲の副県知事として県政を司る仕事に就いたが、大東亜戦争の戦況著しく不利となり、ソ連参戦に加え、オロチン族及び匪賊の襲撃に会い、緊迫した情勢の中で奮戦敢闘したが、多勢に無勢、如何せん生きて捕虜となり恥辱を受けるよりも、日本

満洲の大叔父さん

依田真知子 (元中学校教諭)

今、おじさんの事を書かせて頂く事になった。偶然にも知人から「南方の戦線から復員帰郷した祖父から、満洲のその話を20年前に聞いた事がある」と言われて驚きました。大叔父の事を書き残したいと思ったとき、おじさんの魂の導きとしか思われませんでした。その知人の祖父は「まだ残っている日本人を置いて副知事は逃げなかつたんや。日ソ不可侵条約を破り、攻め込んで来たソ連に対して、大和魂とあり、サムライ魂を示し切腹したんや」と聞いている。

もう一度、日本に帰りたいなとあつちと思つて胸がこみあげます。日本の為に、満洲最北端で、ひるむことなく一杯戦い、異国で散った誇り高い貴之進おじさん夫婦。今は魂魄となり日本に戻り、私達をきつと見守ってくれていると思う。子孫として心から感謝の意を捧げます。

喜連川昌子さんが名酒「小松帯刀」を贈る



花束贈呈の大畑可奈子さん



優勝の椿彩綺さんに演野会長より金一封



返礼の一ノ瀬氏

祝



一ノ瀬氏受章

前田総・前事務局長とは創立以来の同志で、苦業を共にした仲であり、居合道・杖道合気道など計12段の猛者も病には勝てなかった。残念だが今後は治療に専念しながら弊会へのアドバースをお願いしたい。

*報道によると米大統領選挙では共和党のトランプ氏が当選しそうな雰囲気である。氏の対日発言を巡り我が国の識者は侃々諤々として論じている。米国の「ボチ」なご自虐している我が国の左右両陣営は対米従属か

この総会で、事務局長交替の報告承諾を得た。扇の要である事務局長の采配力量は弊会の消長を左右する、故に新事務局長の奮励を乞う。

前田総・前事務局長とは創立以来の同志で、苦業を共にした仲であり、居合道・杖道合気道など計12段の猛者も病には勝てなかった。残念だが今後は治療に専念しながら弊会へのアドバースをお願いしたい。

*報道によると米大統領選挙では共和党のトランプ氏が当選しそうな雰囲気である。氏の対日発言を巡り我が国の識者は侃々諤々として論じている。米国の「ボチ」なご自虐している我が国の左右両陣営は対米従属か

ナノで吸収率5倍

沖縄もずく抽出エキス「フコイダン」
楽天1位の大人気商品

ココロ・カルク
フコイダンライフ・ナノ

ナノカプセル化フコイダン配合
フコイダンライフ・ナノ
18,900円+税、1.2g×60包入

美容と健康の
ビー・エイチ・ラボ
http://www.rakuten.co.jp/bh-labo/
☎0120-919-704
〒553-0006 大阪市福島区吉野4-19-10

この両条の相関関係と整合性について、纏々述べられた。皆さんお解かりかな?、私も憲法議論は随分と聞いて来たが、これは初めて聞いた。次号をお楽しみに。(新)



左から古澤渉外部長、荒木哲哉空将補、前田顧問



右から三人目伊藤元総監を囲んで二次会



講演中の伊藤俊幸元総監



書籍紹介

御歴代天皇の詔勅謹解

著者 杉本延博

鳴呼、天皇の詔勅を拝せば、大御心の尊さと日本に生まれたありがたさが心に沁みる。この詔勅を愛国の至誠にもとづいて世に顕した杉本延博氏に敬意を表する。読者諸兄姉、天皇の國、日本を取り戻すために、同志として力を合わせよう。

西村眞悟 (推薦の詞より)

展転社・定価：[本体1500円+税]

杉本延博著、展転社
定価 1,500円+税

奈良県御所市議の著者がみことのりの再興を願い世に提起した労作。

後編 集記

*定時総会は無事終了した。しかし講演をお願いした海上自衛隊・伊藤俊幸元総監の録音に失敗して文字起こしが出来なかった。本来は録音テープとDVDの2本立てで行うが、テープ録音を失念してDVDの音声のみで録音してしまっただけで、聞き取れず文章にできなかった。申し訳なくお詫言申し上げます。

この総会で、事務局長交替の報告承諾を得た。扇の要である事務局長の采配力量は弊会の消長を左右する、故に新事務局長の奮励を乞う。

前田総・前事務局長とは創立以来の同志で、苦業を共にした仲であり、居合道・杖道合気道など計12段の猛者も病には勝てなかった。残念だが今後は治療に専念しながら弊会へのアドバースをお願いしたい。

*報道によると米大統領選挙では共和党のトランプ氏が当選しそうな雰囲気である。氏の対日発言を巡り我が国の識者は侃々諤々として論じている。米国の「ボチ」なご自虐している我が国の左右両陣営は対米従属か

この脱却を、この70年間唱え続けて来た。今、トランプ発言を頂門の一針と捕らえて国防のバランシートを真剣に検討すべきではないか。日米安保が破綻した場合のBCである。我が国が自主防衛に取組めば新たに20兆円必要では、と云う試算もある。大増税か、消費税20%では追いつかない。それと昭和20年代の生活に戻るのか。そうして憲法9条はどうする、憲法9条を守って戦わずして尖閣諸島や沖縄を奪われ共産支那の属国になるのか?。

平和ボケした日本人にトランプ氏は覚醒を迫っている、そうして、英国がEUから離脱の報道、この二つの事象は通底しているのではないか。そこで若年からの同志で民族派の論客・長谷川潤氏に強弩の末を予測する。

この両条の相関関係と整合性について、纏々述べられた。皆さんお解かりかな?、私も憲法議論は随分と聞いて来たが、これは初めて聞いた。次号をお楽しみに。(新)

*今回はテープ起こしの関係で掲載出来なかったが、6月18日の講演会の講師・高橋孝途徳島文理大学教授(元海将補・弊会初代高橋会長の次男)の論考に蒙を啓かれた。

その触りを予告する。日本国憲法第9条II陸海空軍その他の戦力は、これを保持しない。国の交戦権は、これを認めない。第13条II生命、自由及び幸福追求に対する国民の権利については、公共の福祉に反しない限り、立法その他の国政の上で、最大の尊重を必要とする。